

2026年1月27日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル  
代表者名 代表取締役社長 野崎秀則  
(東証スタンダード市場・コード番号2498)  
問合せ先 取締役統括本部長 橋義規  
T E L 03-6311-6641

**株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル**  
**インドネシア国 LRT ジャカルタフェーズ1B**  
**難工事である長大橋の桁閉合式を実施**

2026年1月13日、当社グループの事業会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：米澤栄二、以下：OC Global)を幹事会社とする共同企業体\*が施工監理を担当する「[インドネシア国 LRT ジャカルタ フェーズ 1B \(ヴェロドーム～マンガライ線\)](#)」において、難工事の一つである、4径間連続PC箱桁橋の桁連結が完了したことを受け、ジャカルタ政府関係者及びプロジェクト関係者と桁閉合式を執り行いました。

\*株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル、PT. Oriental Consultants Indonesia, PT. Jaya CM, PT. Dardela Yasa Guna)



本橋梁は、径間長さ 75m, 120m, 120m, 75m の4径間連続PC箱桁橋であり、張り出し架設工法により施工されました。既存の高速道路を交差する長大橋であり、桁の施工開始から接続まで約5か月の期間で、事故もなく無事に接続に至りました。桁の接続が完了したことで、今後は付帯構造物の施工、軌道工事、鉄道システム工事が開始され、本事業の完成を目指します。

式典の中では、発注者である PT Jakarta Propertindo (Perseroda)のテクニカルダイレクターより、OC Globalへの感謝が伝えられたほか、プロジェクト関係者全員へ労いの言葉が投げかけられました。

PT Jakarta Propertindo (Perseroda)によって運営される LRT (Light Rail Transit : 軽量軌道交通) ジャカルタは、2019年12月にプガンサアンドゥア駅～ヴェロドーム駅間を結ぶフェーズ1区間が開業しており、本事業のフェーズ1Bはその延伸となるヴェロドーム駅～マンガライ駅間（延長約6.4km、全線高架、5駅）を対象としています。OC Globalを含む共同事業体は同区間の入札図書の作成業務、入札支援業務と施工監理を行っています。またOC Globalは、現場着工後約1年間で1駅区間の土木構造物施工の実施と試験運転を成功させ、インドネシア国記録認定機関より、LRT高架鉄道の施工と試運転の最短記録樹立に対する表彰を受けました。



首都ジャカルタの北東部と中心部をLRTで結ぶことにより、年々深刻化する首都ジャカルタの交通渋滞の解消、地域住民の利便性向上、環境配慮型交通社会の実現に貢献します。

OC Globalは、最新の技術を駆使して安心安全かつ効率的な鉄道整備を行うとともに、鉄道整備を通じて当該国のCO2削減や経済成長に寄与しています。



以上

<本資料に関するお問い合わせ先>  
株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル  
担当 広報室 富田早季  
TEL: 03-6311-7570 FAX: 03-6311-8020  
URL: <https://ocglobal.jp/ja/>